令和８年度第１回資金管理委員会議事録要約

［開催日時］　令和８年９月８日（木）13時00分～15時00分

［開催場所］　WEB会議として開催

［出席者（会長◎）］

◎ 甲斐　良隆　京都情報大学院大学教授
　 石川　智久　株式会社日本総合研究所 調査部長／チーフエコノミスト
　 開本　浩矢　大阪大学大学院経済学研究科教授
　 藤原　賢哉　神戸大学大学院経営学研究科教授

※　五十音順（会長除く）

１　令和８年度資金運用計画の変更（公債費負担適正化計画の報告含む）

○　厳しい局面なので、歳出抑制をかなりしっかりとやっていくべき。そうしないとＩＲでの苦戦にもつながる。

○　計画の策定にあたっては今後も金融環境は変化するので、対応できるように預金・債券の両面で柔軟性を持たせてほしい。

２　令和８年度民間資金の調達

○　令和８年度県債発行方針について、現状では①県債の安定的な消化、②弾力的かつ機動的な資金調達、③競争性の確保、④県債への信頼性の向上とあるが、今回は④が一番大切だ。前段にある県の現状についても、危機感を強めた表現にした方がよい。

３　関連公社等の資金運用状況・資金運用支援

○　公社の運用を支援する観点においては、県が真剣に考えているというメッセージが公社に伝われば、よい循環がうまれてくる。